

眼視観測では、スペインの Juan José González Suárez が 9 月 21.84 日 UT、 $m_1 = 12.2$ 、 $\text{dia.} = 1.5$ 、 $\text{DC} = 2$ (133×20.3cm SCT)と観測した。

その他発見された彗星は次のとおり。

P/2005 Q4 (LINEAR)

8 月 31.40 日 UT、LINEAR サーベイのプログラムコースで小惑星状として発見されたが、他の CCD 観測者によって彗星であることが確認された。(IAUC 8595, 2005 Sept. 5)

9 年ほどの短周期彗星である。

P/2005 R1 (NEAT)

9 月 2.43 日 UT、NEAT サーベイのプログラムコースで発見された。彗星状で南西に向かって短い尾らしいものがあった。(IAUC 8595, 2005 Sept. 5) 13 年の短周期彗星である。

P/2005 R2 (Van Ness)

9 月 10.41 日 UT、M. E. Van Ness (Lowell 天文台)が LONEOS サーベイのプログラムコースで彗星を発見した。(IAUC 8597, 2005 Sept. 11) 6.4 年の短周期彗星である。

P/2004 FY₁₄₀ (LINEAR)

2004 年 3 月 27.33 日 UT、LINEAR サーベイのプログラムコースで小惑星状として発見され、その後の CCD 画像から彗星であることが確認された。(IAUC 8597, 2005 Sept. 11)

C/2005 R4 (LINEAR)

9 月 13.41 日 UT、LINEAR サーベイのプログラムコースで小惑星状として発見され、他の CCD 観測者によって彗星であることが確認された。(IAUC 8601, 2005 Sept. 16)

C/2005 S2 (Skiff)

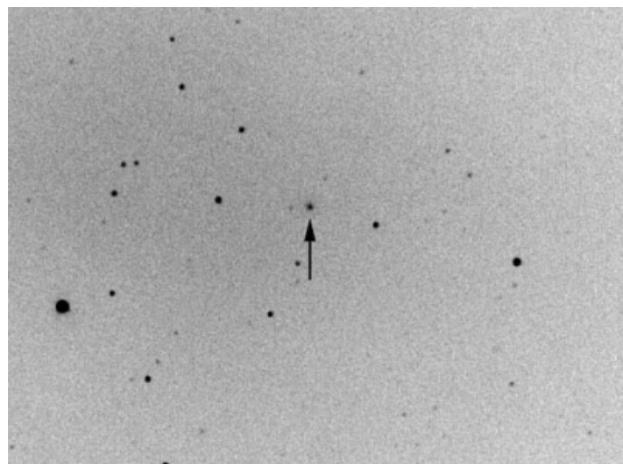
9 月 29.28 日 UT、B. A. Skiff (Lowell 天文台)が LONEOS サーベイのプログラムコースで彗星を発見した。(IAUC 8606, 2005 Sept. 30) 短周期彗星の可能性がある。

その他比較的明るい彗星は、C/2005 E2 (McNaught) (写真 d)、21P/Giacobini-Zinner、9P/Tempel 1、C/2005 A1 (LINEAR)、161P/Hartley-IRAS、C/2004 Q2 (Machholz)、37P/Forbes などであった。



(写真 c) C/2005 P3 (SWAN)& M97, M108 2005, 09, 23
18h 30m (UT) 20cm f/1.5 Schmidt Camera + CCD
L2x180 sec mod 1x1 RGB 80:80:80 sec mod 2x2

© Michael Jäger & Gerald Rhemann



(写真 d) C/2005 E2 (McNaught) 2005, 09, 08
21h 05.0m ~ 12.0m (JST) exp.60s x4 MN61 + CCD

三重県上野市 田中利彦氏